

安全を最優先に、幸せを実感できるまちの実現を目指して



平成25年度のスタートにあたり、今月の特集では、新年度当初予算の概要と主な事業をお知らせします。

本町の税収は若干の回復を見込みましたが、リーマンショック前には程遠く、依然厳しい状況の中、「安全を最優先に、幸せを実感できるまちの実現のための予算」と位置付け、予算編成をしました。

また、住民サービスの維持・向上と町政の健全性の両面のバランスを執り、「健全性を重視し、持続可能な住みよいまち」を目指します。当面、施設などの建設に重点を置く行政ではなく、身近な事業を重視し、町民皆さんの安全を最優先に、子育て支援の充実や障がい者支援など生活に密着した事業に配慮した予算となっています。

平成25年度 当初予算

● 一般会計

予算総額

122億2,000万円

一般会計は、町が行う仕事の大部分を賄う予算で、町税や国・県からの支出金などを財源にしているもので、町民の皆さんに最も関わりの深い予算といえます。

● 特別会計

予算総額（7特別会計）

60億1,166万円

特別会計は、特定の財源で特定の事業を行うもので、土地取得特別会計・国民健康保険特別会計・後期高齢者医療特別会計・介護保険特別会計・幸田駅前土地区画整理事業特別会計・農業集落排水事業特別会計・下水道事業特別会計があります。

● 企業会計

収益的支出 6億7,950万円

資本的支出 3億7,531万円

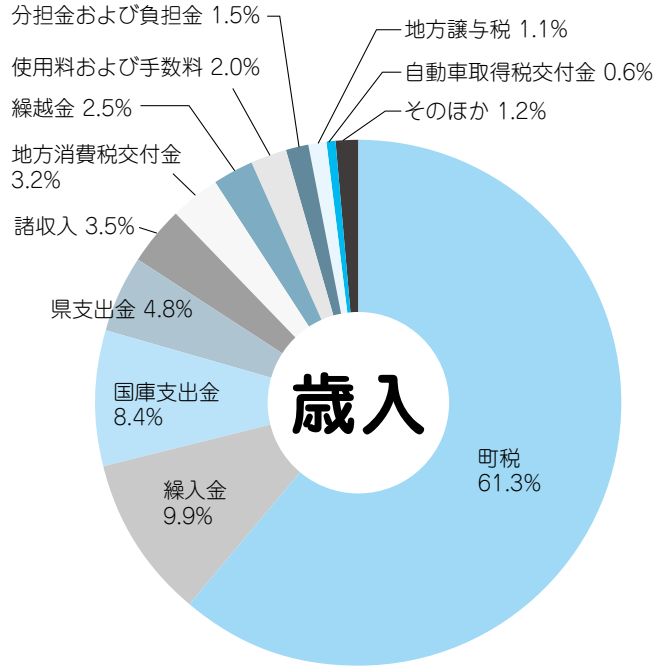
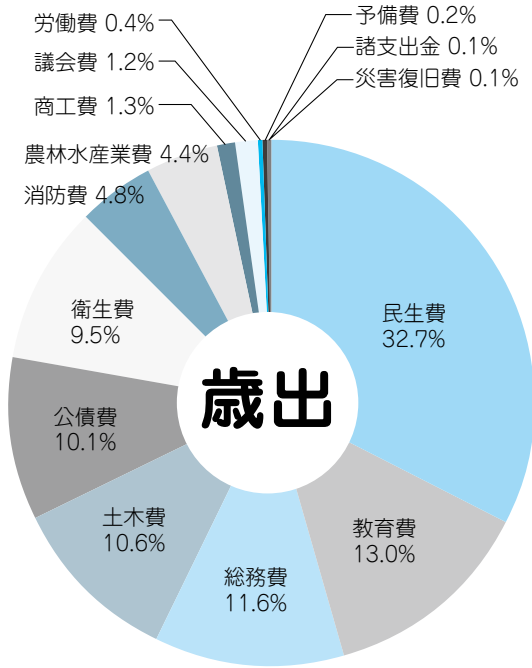
企業会計は、税金を使わず、一つの会社のように独立採算制で事業・経理を行うものです。本町では、水道事業会計がこれにあたります。

(▲減)

会計区分	平成25年度予算	平成24年度予算	伸び率(%)
一般会計	122億2,000万円	132億1,000万円	▲7.5
特別会計			
土地取得特別会計	4,481万円	5,276万円	▲15.1
国民健康保険特別会計	30億3,113万円	30億271万円	0.9
後期高齢者医療特別会計	2億6,813万円	2億7,898万円	▲3.9
介護保険特別会計	13億9,702万円	13億5,050万円	3.4
幸田駅前土地区画整理事業特別会計	1億8,715万円	5億2,768万円	▲64.5
農業集落排水事業特別会計	3億8,251万円	3億7,030万円	3.3
下水道事業特別会計	7億91万円	6億1,412万円	14.1
水道事業会計			
収益的支出	6億7,950万円	6億7,296万円	1.0
資本的支出	3億7,531万円	2億9,824万円	25.8
合計	192億8,647万円	203億7,825万円	▲5.4

平成25年度幸田町一般会計

歳入歳出予算総額 122億2,000万円



歳出

歳出を費目別にみると、民生費が全体の32.7%を占め、次いで教育費が13.0%、総務費が11.6%となっています。農林水産業費は、かんがい排水の負担金がなくなり2億9千万円減(34.6%減)、消防費は、防災行政無線デジタル化整備が完了し2億4千万円減(28.6%減)、総務費は相見駅建設事業が終了したことにより2億2千万円減(13.4%減)などが前年度から減少した主な理由で、全体では9億9千万円減の予算額となりました。

歳入

最も大きな割合を占めている町税は、若干の回復を見込み、前年度比6.6%増の74億9千万円(構成比61.3%)としましたが、リーマンショック前と比較して16億円減少しています。そのため、財源不足を埋めるため基金(貯金)から12億円(構成比9.9%)の取り崩し(繰入金)を予定しています。また、本年度は借入をしないことにより町債が、前年度に比べ5億3千万円減(100%皆減)となり、財政の健全性の確保に努めました。

主な区分の内容

歳入…1年間のすべての収入

【町税】 町民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税など歳入の多くを占める財源

【繰入金】 積立してある基金(貯金)の取り崩しまたは、特別会計から繰り入れるお金

【国庫(県)支出金】 特定の事業の財源の一部として、国(県)から支出されるお金

【町債】 大きな事業を行うために、国や金融機関などから借りるお金

【地方譲与税】 国税として徴収し、地方に譲与される地方揮発油譲与税、自動車重量譲与税など

歳出…1年間のすべての支出

【民生費】 お年寄りや子ども、障がい者など福祉や医療などに使われるお金(児童手当など)

【教育費】 小・中学校、ハッピネス・ヒル・幸田の運営や生涯学習講座などに使われるお金

【総務費】 町職員の給与や町の財産の管理などに使われるお金

【公債費】 町債を返済するお金

主な事業

(新)は新規事業

①安全で快適な都市の 基盤・生活の環境づくり

町民が安全で安心して暮らすことができるよう、安全性、利便性、快適性の高い都市環境の整備に努めます。

●防災・減災対策

- ・新民間住宅耐震シエルト設置工事費補助
- ・新地域防災マップ作成
- ・新農業用ため池耐震調査
- ・民間木造住宅耐震診断、耐震改修支援
- ・自主防災会育成
- ・自主防災会可搬式小型動力ポンプ更新

●交通・防犯

- ・新JR3駅周辺に防犯カメラ設置
- ・新青パトハイブリットカー更新
- ・コミュニティバス4路線運営
- ・電動アシスト自転車購入支援
- ・LED防犯灯設置
- ・地域安全ステーション運営

●消防・救急

- ・新高規格救急車更新
- ・新消防救急無線デジタル化実施設計
- ・防火水槽、消火栓設置



▲新しく導入される高規格救急車(参考)

●道路・橋梁整備

- ・新舗装路面の性状調査
- ・岩堀郷中1号線、野場横落線ほか道路整備
- ・生活道路の舗装、側溝整備
- ・道路区画線補修

●基盤整備

- ・幸田駅前地区土地区画整理推進
- ・土地区画整理地区(岩堀・六栗・里)整備推進

●下水道(公共下水・集落排水)

- ・新北部処理分区、土地区画整理地内の整備
- ・接続申請に伴う整備推進
- ・矢作川流域下水道建設負担金
- ・農業集落排水事業13地区維持管理

●上水道

- ・新永野ポンプ場更新工事
- ・ライフライン機能強化

②環境と調和する まちづくり

自然との共生を図り、緑豊かで環境にやさしいまちづくりを推進します。

●環境対策

- ・新太陽熱利用システム設置支援

●都市公園整備

- ・新公園施設長寿命化計画策定
- ・あいち森と緑づくり事業
- ・公園遊具・施設整備補修

③多様な産業が育つ まちづくり

培われた地域産業を生かし、まち全体の調和の中で創造性の高い産業振興および新産業の創生に努めます。

●農村・農林業振興

- ・農林業活性化支援
- ・農林業活性化支援
- ・林道整備
- ・里山林等整備
- ・農地・水保全管理事業
- ・産業まつり
- ・鳥獣害対策電気柵等補助

●商工・観光・勤労者対策

- ・新大井池トイレ改修
- ・新三ヶ根駅東口トイレ改修



▲三ヶ根駅東口トイレ

町民1人当たりの予算の使い道(一般会計)

31万5,444円

(前年度金額 34万4,181円)

*予算額を平成25年3月1日現在の幸田町の人口3万8,739人で割って算出しました(1円未満四捨五入)

1	民生費	10万3,366円	(1.3%増)
2	教育費	4万1,122円	(7.3%減)
3	総務費	3万6,552円	(14.2%減)
4	土木費	3万3,291円	(13.1%減)
5	公債費	3万1,714円	(2.2%減)
6	衛生費	2万9,864円	(2.6%減)
7	消防費	1万5,215円	(29.3%減)
8	農林水産業費	1万3,880円	(35.2%減)
9	商工費	4,050円	(4.4%増)
10	議会費	3,907円	(1.3%減)
11	労働費	1,183円	(32.6%減)
12	その他	1,300円	(3.2%増)
	合計	31万5,444円	(8.3%減)

●企業立地推進

- ・③三ヶ根駅西口休憩所改修
- ・商工観光事業活性化支援
- ・商工業経営安定対策の推進
- ・彦左まつり
- ・しだれ桜まつり
- ・④企業立地フェア出展
- ・企業立地マスタープラン策定
- ・プレスリリースレクチャース
(ものづくり日本講演会)
- ・企業立地の促進

④健康・福祉のまちづくり

町民一人一人が、心身ともに健康で生きがいを持って暮らしていける地域社会を形成していきます。

●健康づくり

- ・④健康づくり
- ・④新高齢者の肺炎球菌予防接種支援
- ・④新健康こうた21計画の見直し
- ・④未熟児支援
- ・④人間ドック・住民健診
- ・④各種がん検診(無料クーポン事業)推進
- ・④妊婦健康診査(14回公費負担)
- ・④乳幼児健康相談・各種教室
- ・④こんにちは赤ちゃん訪問
- ・④各種健康づくり団体育成・活動支援
- ・④各種予防接種(子宮頸がん等ワクチン接種)
- 高齢者、障がい者福祉・介護保険
- ・在宅介護手当
- ・障がい者総合支援の推進

●児童福祉・保育園整備

- ・介護予防対策の推進
- ・日常生活用具、補装具給付
- ・地域活動支援センターの空調設備改修
- ・⑤新わした保育園増築・大規模改修
- ・⑤新全保育園で英語あそびモデル事業
- ・⑤子ども・子育て支援法に基づく二一ス調査
- ・土曜日終日保育
- ・休日保育継続
- ・子ども医療費無料化継続(中学校卒業まで)
- ・放課後児童クラブ運営
- ・私立幼稚園就園奨励費・入園料補助



▲わした保育園

⑤地域文化・人づくり

ライフステージに応じた教育・文化・学習活動の場づくり、環境づくりなど生涯学習の推進に努めることにも、将来を担う子どもたちの健全育成を推進します。また、地域コミュニティ意識の醸成を図り、豊かな地域社会づくりを形成していきます。

●社会教育

- ・生涯学習講座
- ・本光寺文化財調査
- ・青少年健全育成
- ・成人式

●スポーツ振興

- ・夏まつり、凧揚げまつり
- ・放課後子ども教室運営
- ・少年少女発明クラブ支援
- ・スポーツ教室
- ・町民スポーツ大会
- ・地区スポーツ大会支援
- ・町民大運動会
- ・新春駅伝・ファミリージョギング大会

●学校教育

- ・⑥新坂崎・幸田小学校大規模改修
- ・⑥幸田中学校大規模改修
- ・⑥校務支援システム導入
- ・⑥少人数、通級指導対応教育の推進
- ・⑥学級補助嘱託教員、理科支援員配置
- ・⑥日本語指導教員、母国語対応支援員配置
- ・外国人英語講師配置
- ・奨学金制度
- ・教育相談活動の充実

●国際化推進

- ・海外派遣交流校受け入れ
- ・中学生海外派遣
- ・国際交流事業支援
- コミュニティ
- ・地区集会施設維持管理
- ・コミュニティ活動支援

⑥健全な行財政による 確かなまちづくり

住民が積極的に行政に参加できる開かれたまちの実現を目指します。ま

た、長期的な視点にたち健全性を重視した、バランスのとれた行財政運営の確立に努めます。

●広報・広聴推進

- ・広報紙発行
- ・町政モニター
- ・ケーブルテレビ番組作成

●指定管理者制度

- ・町民会館、図書館、町民ホール
- ・高齢者生きがいセンター、高齢者ふれあいプラザ
- ・道の駅「筆柿の里・幸田」

●行財政運営

- ・⑥新役場組織の機構改革
- ・⑥新総合窓口設置(役場庁舎1階改修)
- ・⑥新中電以外からの電力購入(電気料金削減)
- ・⑥事業仕分け(第3弾)
- ・⑥職員の手当カット
- ・⑥行政改革大綱に基づき事務改善の推進
- ・⑥公債費の抑制
- ・⑥借地解消(用地購入)



▲総合窓口イメージ

諸施策の実施にあたりましては、町民の皆さんとの対話の中からいただいた貴重なご意見を可能な限り取り入れ、「開かれたわかりやすい行政」を行っていきます。

問合せ 財政課財政G(内線3753)